

2019年度工芸科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		週授業時間数				備考	教職	IGP対応		
						バイオベース以外	バイオベース	1～2年次		①	②				③	④
								春	秋							
数 学 系	数理応用演習	Exercises in Mathematics, Advanced	朝田 衛・峯 拓矢・磯崎泰樹・武石拓也	1	講義・演習	○	○			2			週1回8週開講。本学学部科目「数理応用演習」の既修得者は履修不可。			
	数理科学特論 I	Mathematical Sciences I	朝田 衛・武石拓也	2	講義	○	○			2			電・情・機物・機設			
	数理科学特論 II	Mathematical Sciences II	磯崎泰樹・峯 拓矢・塚本千秋	2	講義	○	○			2			電・情・機物・機設			
	数理科学特論 III	Mathematical Sciences III	井川 治・矢ヶ崎達彦	2	講義	○	○			2			電・情・機物・機設			
	数理応用代数	Algebra and its Applications	朝田 衛	2	講義	○	○			2		本学学部科目「数理応用代数」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)			
	数理応用幾何	Geometry and its Applications	井川 治	2	講義	○	○			2		本学学部科目「数理応用幾何」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)			
	数理応用解析	Mathematical Analysis and its Applications	峯 拓矢	2	講義	○	○			2		本学学部科目「数理応用解析」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)			
	数理応用統計	Statistical Mathematics and its Applications	磯崎泰樹	2	講義	○	○			2		本学学部科目「数理応用統計」既修得者は履修不可。	電・情・機物(必修)・機設(必修)			
	代数学セミナー	Seminar on algebra	朝田 衛	2	講義・演習	○	○			2						
	幾何学セミナー	Seminar on geometry	井川 治・塚本千秋・矢ヶ崎達彦	2	講義・演習	○	○			2					※	
	解析学セミナー	Seminar on analysis	峯 拓矢・武石拓也	2	講義・演習	○	○			2						
	確率論セミナー	Seminar on probability theory	磯崎泰樹	2	講義・演習	○	○			2					※	
英 語 系	Academic Writing	Academic Writing	a カトウ ダニエラ	1	講義	○	☆			2		応、材創、材制、物合、機能、パ対象				
			b 神澤克徳						2							
			c 深田 智						2		電、情、機物、機設、先ファ対象					
			d 田中廣明						2		建、デザ学対象					
	書くための英文法総仕上げ	English Grammar for Writing	羽藤由美	1	講義	○	☆			2						
	Presentation Strategies	Presentation Strategies	a ヒーリ サンドラ	1	講義	○	☆			2		応、材創、材制、物合、機能、パ対象				
			b 坪田 康						2		電、情、機物、機設、先ファ対象					
			c カトウ ダニエラ						2		建、デザ学対象					
	Technical English	Technical English	a 某	1	講義	○	☆			2		2019年度開講せず				
			b (Wever, Steven)						2							
	Business Communication	Business Communication	(Wever, Steven)	2	講義	○	☆			2					※	
	English for International Conferences	English for International Conferences	深田 智	1	講義	○	☆			2					※	
TOEIC受験集中対策	Intensive TOEIC Preparation	a 林千恵子	1	講義	○	☆			2		aクラス:730点以上の取得を目指すクラス。bクラス:630点以上の取得を目指すクラス。ただし、初回にクラス分けテストを実施して、a,bクラスの間で受講者数を調整する。					
		b 坪田 康														
		c 林千恵子						2	10月または11月の公開テストを受験する者が対象。							

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		講義・フューチャー・バイオコース	週授業時間数				備考	教職	IGP対応		
						バイオベース以外	バイオベース		1~2年次		①	②				③	④
									春	秋							
英語系	Media English: Listening, Reading and Discussion	Media English: Listening, Reading and Discussion	羽藤由美	1	講義	○	☆				2		西暦奇数年開講		※		
	Presentation English: Listening, Reading and Discussion	Presentation English: Listening, Reading and Discussion	竹井智子	1	講義	○	☆				2		西暦偶数年開講		※		
	Academic Reading	Academic Reading	a 田中廣明	1	講義	○	☆				2					※	
			b 竹井智子														2
	Content and Language Integrated Learning I	Content and Language Integrated Learning I	竹井智子・羽藤由美	1	講義	○	☆				2		西暦奇数年:竹井 西暦偶数年:羽藤		※		
	Content and Language Integrated Learning II	Content and Language Integrated Learning II	ヒーリ サンドラ	1	講義	○	☆				2				※		
Content and Language Integrated Learning III	Content and Language Integrated Learning III	(Wever, Steven)	1	講義	○	☆				2				※			
高等教養セミナー系	高等教養セミナー1	Advanced Liberal Arts Seminar 1	林千恵子	1	講義	○	○				2		「高等教養セミナー16」既修得者は履修不可		※		
	高等教養セミナー2	Advanced Liberal Arts Seminar 2	塩屋葉子	1	講義	○	○			2			「高等教養セミナー17」既修得者は履修不可		※		
	高等教養セミナー3	Advanced Liberal Arts Seminar 3	秋富克哉	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー4	Advanced Liberal Arts Seminar 4	大谷芳夫	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー5	Advanced Liberal Arts Seminar 5	人見光太郎	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー6	Advanced Liberal Arts Seminar 6	北村幸也	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー7	Advanced Liberal Arts Seminar 7	伊藤 徹	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー8	Advanced Liberal Arts Seminar 8	吉川順子	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー9	Advanced Liberal Arts Seminar 9	秋富克哉	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー10	Advanced Liberal Arts Seminar 10	深田智・南 剛	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー11	Advanced Liberal Arts Seminar 11	澤田美恵子・伊藤翼斗	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー12	Advanced Liberal Arts Seminar 12	澤田美恵子・某	1	講義	○	○				2		2019年度開講せず		※		
	高等教養セミナー13	Advanced Liberal Arts Seminar 13	伊藤 徹	1	講義	○	○			2					※		
	高等教養セミナー14	Advanced Liberal Arts Seminar 14	ジュリー・ブロック	1	講義	○	○				2				※		
	高等教養セミナー15	Advanced Liberal Arts Seminar 15	竹井智子	1	講義	○	○				2				※		
高等教養講義	Advanced Liberal Arts Lecture	秋富克哉・伊藤 徹・伊藤翼斗・澤田美恵子・ジュリー・ブロック・南 剛・吉川順子・某	1	講義	○	○				2				※			
人文系	比較文学特論	Comparative Literature, Advanced	ジュリー・ブロック	2	講義	○	○				2		西暦偶数年開講				
	制作思想	Poesis and Artistic Discourse	伊藤 徹	2	講義	○	○			2					※		
	宗教文化論	The Study of Religious Culture	秋富克哉	2	講義	○	○			2					※		
	京の伝統工芸—知 美 技 (課題解決セミナー1)	Traditional Kyoto Art-Wisdom, Beauty and Technology(Problem-Solving Seminar I)	澤田美恵子・深田 智・伊藤翼斗	2	講義・演習	○	○			2		集中			※		
	テックリーダー演習I: 起業工学	Tech Leader Seminar I : Entrepreneur Engineering	副学長・(加納剛太)・(出川 通)・(富澤 治)・(石綿 宏)	2	講義・演習	○	○			2			「ベンチャーラボ演習I」、「テックリーダー演習I」の既修得者は履修不可。				
	テックリーダー演習II	Tech Leader Seminar II	(津吹達也)・鈴木篤史	1	演習	○	○			2		集中			※		
自然科学系	環境化学特論	Environmental Chemistry, Advanced	前田耕治・吉田裕美	2	講義	○	☆				2			応・材創・材制・物合・機能・バ	※		
	生体行動科学特論	Science of Human Performance, Advanced	野村照夫・来田宣幸	2	講義	○	○			4					※		
	バイオメカニクス特論	Biomechanics, Advanced	芳田哲也・山下直之	2	講義	○	○				2				※		
	「ものづくり」総合プロデュース論	Design&General Produce	(久保雅義)・(小林 洋)・(松川恵一)	2	講義	○	○				4		集中				

授 業 科 目	英文授業科目名	ク ラ ス	担 当 教 員	単 位 数	授 業 形 態	履修区分		週授業時間数				備 考	教職	IGP 対 応		
						バイ オ ベース 以外	バイ オ ベース	1～2年次		①	②				③	④
								春	秋							
イ ン タ ー ン シ ッ プ 系	インターンシップ I	Internship I	専攻関係教員	1	演習	○	☆			2						
	インターンシップ II	Internship II	専攻関係教員	2	演習	○	☆			4						
	グローバルインターンシップ I	Global Internship I	研究科長	1	演習	○	☆			2						
	グローバルインターンシップ II	Global Internship II	研究科長	2	演習	○	☆			4						
	グローバルイノベーションプログラム I	Global Innovation Program I	鈴木篤史・専攻関係教員	4	演習	○	☆			8		集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。		※		
	グローバルイノベーションプログラム II	Global Innovation Program II	鈴木篤史・専攻関係教員	4	演習	○	☆			8		集中・履修定員有。「グローバルイノベーションプログラム I」履修者のみ履修可。		※		
	dCEPセッション(M) I	dCEP session (M) I	dCEP関係教員	2	演習	○	☆			8		集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可				
	dCEPセッション(M) II	dCEP session (M) II	dCEP関係教員	2	演習	○	☆			8		集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可				
	dCEPセッション(M) III	dCEP session (M) III	dCEP関係教員	2	演習	○	☆			8		集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可				
	dCEPセッション(M) IV	dCEP session (M) IV	dCEP関係教員	2	演習	○	☆			8		集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可				
K I T 大 学 院 科 目	デザインリサーチ論	Design Research	門 勇一・岡田栄造・ dCEP関係教員	2	講義・ 演習	○	○			4		デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目。				
	プロトタイピング論	Theory and Practice of Prototyping	鈴木篤史	2	講義	○	○			2		デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目。				
	産学協働プロジェクト I	Academic-Industrial Collaboration Project I	桑原教彰・大谷章夫	1	演習	○	○			2		集中・履修定員有。				
	国際協働プロジェクト	International Cooperation Project	高橋和生	1	実習	○	○			3		集中		※		
	プロジェクト・マネジメント	Project Management	副学長	2	講義	○	○			2		国際科学技術コース科目 授業は英語で行う		※		
	IGP 知的財産権論	IGP Intellectual Property	国際センター長・ (某)	2	講義	○	○			2		集中 国際科学技術コース科目 授業は英語で行う		※		
	産業創出論	Industry Creation Strategy	国際センター長・ (染原俊朗)・(田口貢士)・ (水越達也)	2	講義	○	○			2		集中 国際科学技術コース科目 授業は英語で行う		※		
	実践プロセスデザイン I	Practice Process Design I	飯塚高志・江頭 快・ 吉本昌広・小林和淑・ 島崎仁司・水野 修	2	講義・ 演習・ 実習	○	○			4		2019年度開講せず*				
	実践プロセスデザイン II	Practice Process Design II	飯塚高志・江頭 快・ 吉本昌広・小林和淑	3	講義・ 演習・ 実習	○	○			6		2019年度開講せず* 集中(インターンシップ含む)				
	伝統産業特論 I	Advances of Applied Conventional Art and Technology I	濱田泰以・桑原教彰・ 来田宣幸・(太田智子)・ (多田牧子)・(須田充訓)・ (岡岩太郎)・(黒田孝二)・ (横田香世)・(大門耕平)	2	講義・ 演習	○	○			2		集中				
	伝統産業特論 II	Advances of Applied Conventional Art and Technology II	濱田泰以・桑原教彰・ 来田宣幸	2	講義・ 演習	○	○			2		集中				
	ジェロントロジー入門 (超高齢社会のユニバーサルデザイン)	Gerontology	大柴小枝子・(関根千佳)	2	講義	○	○			2		集中				
繊維系合同研修	Fiber/Textile Joint Research	青木隆史	2	演習	○	○	●		4		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、1年次					

授業科目	英文授業科目名	クラス	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		繊維・ファイバー工学コース	1～2年次				備考	教職	IGP対応
						バイオベース以外	バイオベース		春		秋				
									①	②	③	④			
K I T 大学院科目	繊維系資格概論	Qualification for Textile Business	浦川 宏	2	講義	○	○	☆		2		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可			
	アカデミックインターンシップ (国内) I	Academic Internship I	浦川 宏・先端ファイブロ科学専攻担当教員・バイオベースマテリアル学専攻担当教員	1	実習	○	○	☆	2	2		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、1年次、春又は秋学期開講。自己負担がある可能性有り			
	アカデミックインターンシップ (国内) II	Academic Internship II	浦川 宏・先端ファイブロ科学専攻担当教員・バイオベースマテリアル学専攻担当教員	1	実習	○	○	☆	2	2		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、1年次、春又は秋学期開講。自己負担がある可能性有り			
	アカデミックインターンシップ (海外)	Academic Internship (Overseas)	綿岡 勲・佐藤哲也	2	実習	○	○	☆	3	3		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可。繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可、春又は秋学期開講。自己負担がある可能性有り			
	繊維・ファイバー工学特論 I	Topics in Fiber/Textile Technology I	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可、春又は秋学期開講 「海外繊維・ファイバー工学事情 I (欧米)」既修得者は履修不可。			
	繊維・ファイバー工学特論 II	Topics in Fiber/Textile Technology II	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可、春又は秋学期開講 「海外繊維・ファイバー工学事情 I (欧米)」既修得者は履修不可。			
	繊維・ファイバー工学特論 III	Topics in Fiber/Textile Technology III	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可、春又は秋学期開講 「海外繊維・ファイバー工学事情 II (アジア)」既修得者は履修不可。			
	繊維・ファイバー工学特論 IV	Topics in Fiber/Textile Technology IV	佐々木園・鋤柄佐千子・奥林里子・安永秀計	1	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可、春又は秋学期開講 「海外繊維・ファイバー工学事情 II (アジア)」既修得者は履修不可。			
	繊維基礎科学 (英語版e-Learning科目)	Textile Fundamentals	奥林里子	2	講義	○	○	☆		2		繊維・ファイバー工学コース基幹科目、繊維・ファイバー工学コースの修了は別途実施の選抜試験合格者のみ可 繊維・ファイバー工学コース学生のみ履修可			

注1. 履修区分欄の☆印は選択必修科目 (バイオベースマテリアル学専攻は2単位以上必修)、○は選択科目を示す。

注2. 繊維・ファイバー工学コース欄の☆印は、繊維・ファイバー工学コースの「コース基幹科目」の選択必修科目 (コース履修者は4単位以上必修)

(10) 情報工学専攻

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を () で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分		週授業時間数				備 考	教職	IGP対応
					インタラクシ ョンデザ イン学 コース 以外	インタラクシ ョンデザ イン学 コース	1～2年次						
							春	秋	①	②			
IoTプロセッシング特論	IoT and Signal Processing, Advanced	福澤理行	2	講義	☆	○	4					※	※
形式言語理論	Formal Language Theory	辻野嘉宏	2	講義	☆	○	4					※	※
コンピュータシステム特論	Computer Systems, Advanced	平田博章	2	講義	☆	○	4						※
機械学習特論	Machine Learning, Advanced	荒木雅弘	1	講義	☆	☆	2					※	※
形式的意味論	Formal Semantics	辻野嘉宏	1	講義	☆	○	2					※	※
システム設計特論	System Design, Advanced	飯間 等・森 禎弘	2	講義	○	○	4					※	※
情報伝送システム論	Data Transmission Systems	稲葉宏幸・梅原大祐	2	講義	○	○	4					※	※
情報ネットワーク特論	Data Networks, Advanced	梅原大祐・榎田秀夫・永井孝幸	2	講義	☆	○		4				※	※
ダイナミカルシステム論	Dynamical Systems Theory	飯間 等・森 禎弘	2	講義	☆	○		4				※	※
人間情報環境特論	Human Centred Information Processing Environments	澁谷 雄・(園山隆輔)	2	講義	○	☆		4					※
ソフトウェアメトリクス論	Software Metrics	水野 修	1	講義	○	☆		2					※
ソフトウェアマイニング分析論	Software Mining and Analysis	水野 修	1	講義	○	○		2					※
マルチメディア効果論	Multimedia Effects	寶珍輝尚・野宮浩揮	1	講義	○	☆		2					※
ビッグデータ管理論	Big Data Management	寶珍輝尚	1	講義	○	○		2					※
オペレーティングシステム特論	Operating Systems, Advanced	布目 淳	2	講義	○	○			4				※
コンピュータビジョン	Computer Vision	杜 偉薇・福澤理行	2	講義	○	○			4				※
認知的インタラクションデザイン学	Cognitive Interaction Design	岡 夏樹・澁谷 雄・西崎友規子・(加藤博一)・(平岡敏洋)・(入野 宏)・(新井田 統)	1	講義	○	☆	1				集中		
フィジカルインタラクションデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・榎 勝彦・岡田栄造・水野 修・荒木雅弘・野宮浩揮・田中一晶	4	講義・演習	○	☆	4				演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※
ソーシャルインタラクションデザイン	Social Interaction Design	澁谷 雄・川北真史・西村雅信・池側隆之・山本景子・CHEN Lu	4	講義・演習	○	☆		4			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		
グローバルイノベーションプログラムⅠ	Global Innovation Program I	鈴木篤史・専攻関係教員	4	演習	○	☆		8			集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。		※
グローバルイノベーションプログラムⅡ	Global Innovation Program II	鈴木篤史・専攻関係教員	4	演習	○	☆	8				集中・履修定員有。「グローバルイノベーションプログラムⅠ」の履修者のみ履修可。		※
情報工学インターンシップⅠ	Internship for Information Science I	専攻関係教員	6	演習	○	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
情報工学インターンシップⅡ	Internship for Information Science II	専攻関係教員	6	演習	○	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、情報工学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)		
情報工学特別実験及び演習Ⅰ	Special Seminar on Information Science I	専攻関係教員	3	実験	●	●	9			1年次		※	
情報工学特別実験及び演習Ⅱ	Special Seminar on Information Science II	専攻関係教員	3	実験	●	●	9			1年次		※	
情報工学特別実験及び演習Ⅲ	Special Seminar on Information Science III	専攻関係教員	3	実験	●	●	9			2年次		※	
情報工学特別実験及び演習Ⅳ	Special Seminar on Information Science IV	専攻関係教員	3	実験	●	●	9			2年次		※	
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified Subjects I	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)			1年次			
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified Subjects II	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)			1年次			
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified Subjects III	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)			2年次			
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified Subjects IV	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)			2年次			
特別研究	Special Research	専攻関係教員											※

☆は、選択必修科目（インタラクションデザイン学コース以外は7科目12単位中8単位以上必修；インタラクションデザイン学コースは9科目22単位中8単位以上必修）

(13) 建築学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士		週授業時間数				備考	教職	IGP対応		
						インター ンシップ	関連 科目	1～2年次								
								春	秋	①	②				③	④
建築設計実習	Architecture Design Studio	専攻関係教員・ (六鹿正治)・ (奥谷繁礼)	6	実習	●	○			24*				集中・1年次 *タイ・チェンマイ 大学とのJDP(ジョ イントディグリープ プログラム)関連科 目のため 1単位あたり30時 間とする。			
都市設計実習	Urban Design Studio	専攻関係教員・ (根本哲夫)・ (宮城俊作)	6	実習	●	○			24*				集中・1年次 *タイ・チェンマイ 大学とのJDP(ジョ イントディグリープ プログラム)関連科 目のため 1単位あたり30時 間とする。			
建築力学・構造特論	Structural Mechanics and Design, Advanced	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義	○				4						※	※
建築環境・設備論	Building Environment and Equipments	(岡田康郎)	2	講義	○				4						※	※
安心安全デザイン技術	Design Technology of Safety and Security	阪田弘一・高木真人	2	講義・ 演習	○		○		4							
建築保存再生技術	Design Technology of Reinforcement and Renovation	清水重敦・某・ 金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・松田剛佐	2	講義・ 演習	○		○		4							
建築設備設計技術	Design Technology of Building Equipments	(岡田康郎)	2	講義・ 演習	○		○		4							
建築構造設計技術	Design Technology of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義・ 演習	○		○		4							
建築史	Architectural History	西田雅嗣・松隈 洋・ 清水重敦・某	2	講義	○				4						※	※
建築デザイン	Architectural Design	長坂 大・松隈 洋・ 米田 明・中村 潔	2	講義	○		○		4						※	※
都市デザイン	Urban Design	大田省一・赤松加寿江・ 笠原一人	2	講義	○		○		4							※
グローバルイノベーションプログラム I	Global Innovation Program I	鈴木篤史・ 専攻関係教員	4	演習	○						8		集中・履修定員有。 履修希望者が多い 場合は、履修制限 を行います	※	※	
グローバルイノベーションプログラム II	Global Innovation Program II	鈴木篤史・ 専攻関係教員	4	演習	○						8		集中・履修定員有。 「グローバルイ ノベーションプロ グラム I」履修者のみ履 修可。	※	※	
dCEPセッション(M) I	dCEP session (M) I	dCEP関係教員	2	演習	○						8		集中・履修定員有。 デザインセントリック エンジニアリングプ ログラム(dCEP)必修 科目 dCEPコース生のみ 履修可			
dCEPセッション(M) II	dCEP session (M) II	dCEP関係教員	2	演習	○						8		集中・履修定員有。 デザインセントリック エンジニアリングプ ログラム(dCEP)必修 科目 dCEPコース生のみ 履修可			
dCEPセッション(M) III	dCEP session (M) III	dCEP関係教員	2	演習	○						8		集中・履修定員有。 デザインセントリック エンジニアリングプ ログラム(dCEP)必修 科目 dCEPコース生のみ 履修可			
dCEPセッション(M) IV	dCEP session (M) IV	dCEP関係教員	2	演習	○						8		集中・履修定員有。 デザインセントリック エンジニアリングプ ログラム(dCEP)必修 科目 dCEPコース生のみ 履修可			
住環境設計マネジメント	Design Management of Dwelling Environment	阪田弘一・中山利恵・ 木下昌大	2	講義	○		○		4						※	※
都市・地域設計マネジメント	Design Management of Urban and District Environment	角田暁治・岩本 馨・ 三宅拓也	2	講義	○		○		4							※
建築構造設計マネジメント	Design Management of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義	○		○		4							※

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士		週授業時間数				備 考	教 職	IGP 対 応
						インターンシップ	関連科目	1～2年次						
								春		秋				
①	②	③	④											
都市・建築空間研究A	Architecture and Urban Spatial Research A	専攻関係教員	3	演習	●K	○			6			集中	※	
都市・建築空間研究B	Architecture and Urban Spatial Research B	専攻関係教員	3	演習	●K	○				6		集中	※	
建築設計実務実習Ⅰ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅰ	専攻関係教員	3	実習	●K	●			5	5		集中・学外インターンシップ・1年次		
建築設計実務実習Ⅱ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅱ	専攻関係教員	3	実習	●K	●			5	5		集中・学外インターンシップ・2年次		
建築設計実務実習Ⅲ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅲ	専攻関係教員	3	実習	○	○			5	5		集中・学外インターンシップ		
国際設計プロジェクトⅠ	International Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○		8				集中	※	
国際設計プロジェクトⅡ	International Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○			8			集中	※	
国際設計プロジェクトⅢ	International Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8		集中	※	
国際設計プロジェクトⅣ	International Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8		集中	※	
建築設計学特別講義Ⅰ	Special Lecture-Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	○	○		2				集中	※	
建築設計学特別講義Ⅱ	Special Lecture-Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	○	○			2			集中	※	
建築設計学特別講義Ⅲ	Special Lecture-Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○	○				2		集中	※	
建築設計学特別講義Ⅳ	Special Lecture-Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○	○					2	集中	※	
建築設計学インターンシップⅠ	Internship for Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	○			—	—		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可・1年次(通年)		
建築設計学インターンシップⅡ	Internship for Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	○			—	—		社会人特別入試で合格し入学した者で、建築設計学インターンシップ既習得者のみ履修可・2年次(通年)		
特別制作	Studio Theses	専攻関係教員・(Viray,Erwin)											※	
都市史	Urban History	中川 理・小野芳朗・大田省一・岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○			4					※	※
建築都市再生学特別講義Ⅰ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	○	○		2				集中		
建築都市再生学特別講義Ⅱ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	○	○			2			集中		
建築都市再生学特別講義Ⅲ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○	○				2		集中		
建築都市再生学特別講義Ⅳ	Design for Living Heritage: Special Lecture Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○	○				2		集中		
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8				集中		
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中		
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8		集中		
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8		集中		
地域設計プロジェクトⅠ	Regional Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8				集中		
地域設計プロジェクトⅡ	Regional Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中		
地域設計プロジェクトⅢ	Regional Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8		集中		
地域設計プロジェクトⅣ	Regional Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8		集中		
都市・建築再生学演習Ⅰ	Practices of Architecture and Urban Regeneration Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	●T			6	6			1年次	※	
都市・建築再生学演習Ⅱ	Practices of Architecture and Urban Regeneration Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	●T			6	6			2年次	※	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員												※

1. 建築士欄の●は必修科目、○は選択科目を示す。
2. ●Kは特定課題型の必修科目、●Tは論文型の必修科目を表す。
3. 建築士のインターンシップ科目とインターンシップ関連科目から所定の単位を修得すれば、一級建築士受験資格の実務経験2年と認定される。
4. 教育職員免許状の高等学校教諭(工業)一種免許状を取得した者又は取得有資格者で、高等学校教諭(工業)の専修免許状を取得しようとする者は、「教職」欄に「※」を付した科目を24単位以上修得し、修士の学位を得ることにより取得することが出来ます。

(14) デザイン学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応
						1～2年次						
						春	秋	①	②			
アドバンストデザインプロジェクトⅠ	Advanced Design Project I	専攻関係教員	2	演習	☆	2	2			1年次		※
アドバンストデザインプロジェクトⅡ	Advanced Design Project II	専攻関係教員	2	演習	☆	2	2			2年次		※
フィジカルインタラクションデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・楡 勝彦・岡田栄造・水野 修・荒木雅弘・野宮浩揮・田中一晶	4	講義・演習	☆	4				演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※
ソーシャルインタラクションデザイン	Social Interaction Design	澁谷 雄・川北眞史・西村雅信・池側隆之・山本景子・CHEN Lu	4	講義・演習	☆		4			演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり		※
グローバルイノベーションプログラムⅠ	Global Innovation Program I	鈴木篤史・専攻関係教員	4	演習	☆		8			集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。		※
グローバルイノベーションプログラムⅡ	Global Innovation Program II	鈴木篤史・専攻関係教員	4	演習	☆		8			集中・履修定員有。「グローバルイノベーションプログラムⅠ」履修者のみ履修可。		※
dCEPセッション(M)Ⅰ	dCEP session (M)Ⅰ	dCEP関係教員	2	演習	☆	8				集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可		
dCEPセッション(M)Ⅱ	dCEP session (M)Ⅱ	dCEP関係教員	2	演習	☆		8			集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可		
dCEPセッション(M)Ⅲ	dCEP session (M)Ⅲ	dCEP関係教員	2	演習	☆			8		集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可		
dCEPセッション(M)Ⅳ	dCEP session (M)Ⅳ	dCEP関係教員	2	演習	☆				8	集中・履修定員有。デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目dCEPコース生のみ履修可		
プロジェクトデザインA	Project Design A	専攻関係教員	4	演習	●	16				集中		※
プロジェクトデザインB	Project Design B	専攻関係教員	4	演習	●			16		集中		※
価値創造学演習Ⅰ	Seminar on Axiology and Curation I	専攻関係教員	4	演習	●	4	4			1年次		※
価値創造学演習Ⅱ	Seminar on Axiology and Curation II	専攻関係教員	4	演習	●	4	4			2年次		※
建築史	Architectural History	西田雅嗣・松隈 洋・清水重敦・某	2	講義	○	4						※
都市史	Urban History	中川 理・小野芳朗・大田省一・岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○	4						※
デザイン論特論	Theory of Design Advanced	永井隆則	2	講義	○	4						※
展示デザイン論	Theory of Curation, advanced	永井隆則・三木順子	2	講義	○		4					※
感性論特論	Aesthetics, Advanced	三木順子	2	講義	○				4			※
価値創造学実務実習	Internship for Creative Curation Practice	専攻関係教員	2	実習	○	3		3		集中・学外インターンシップ(専攻長が認めた者のみ履修可)		
博物館資料実習Ⅰ	Curatorial and Archival Exercises at Museum I	専攻関係教員	2	演習	○	4				1年次		※
博物館資料実習Ⅱ	Curatorial and Archival Exercises at Museum II	専攻関係教員	2	演習	○			4		1年次 博物館資料実習Ⅰ既修得者のみ履修可		※

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	教職	IGP対応
						1～2年次						
						春	秋					
①	②	③	④									
博物館資料実習Ⅲ	Curatorial and Archival Exercises at Museum Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	4				2年次 博物館資料実習Ⅰ～Ⅱ既 修得者のみ履修可		※
博物館資料実習Ⅳ	Curatorial and Archival Exercises at Museum Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○		4			2年次 博物館資料実習Ⅰ～Ⅲ既 修得者のみ履修可		※
伝統文化とデザイン	Traditional Culture and Design	並木誠士・中野仁人	2	講義	○		4					※
技術革新とデザイン	Technological Innovation and Design	平芳幸浩・池側隆之	2	講義	○		4					※
色彩工学	Color Technology	佐藤哲也・北口紗織	2	講義	○	4						※
プロダクトデザイン論	Product Design	岡田栄造・中坊社介	2	講義	○	4						※
生活空間環境論	Living Environment and Human Response	小山恵美	2	講義	○	4						※
製品創成産業論	Innovative Management in High-tech Industry	川北真史	2	講義	○		4					※
グローバル・マーケット研究	Study of Global Market	(坂本和子)	2	講義	○		4			集中		
テレコミュニケーション技術論	Engineering in Telecommunication	三村 充・松本裕司	2	講義	○	2						※
製品デザインマネジメント	Product Design Management	木谷庸二	2	講義	○	2						※
企業経営管理論	Cooperate Planning Business & Management	(米田庄太郎)	2	講義	○	2				集中		
デザイン材料論	Design and Materials	(西村太良)	2	講義	○			2				
ワークスペース計画論	Workplace Planning	仲 隆介	2	講義	○	2						※
ヴィジュアルデザイン論	Visual Design	西村雅信・市川靖史	2	講義	○			4				※
インテリアデザイン論	Interior Design	野口企由・多田羅景太	2	講義	○			4				※
共創デザインアプローチ	Designing with People—Practice-Based Approaches	榎 勝彦・某	2	講義	○				4			※
アドバンストコンピュータショナルデザイン	Advanced Computational Design	LI ANDREW I KANG	2	講義	○			2				※
ソーシャルインタラクションデザイン事例研究Ⅰ（社会デザインマネジメント）	Case Studies on Social Interaction Design Ⅰ	(河原林桂一郎)・(松岡成康)・(松岡利昌)	2	講義	○			2		集中		
国際産業構造研究	Global Industrial Structure	勝本雅和	2	講義	○			2				※
ソーシャルインタラクションデザイン事例研究Ⅱ（生活製品・空間マネジメント）	Case Studies on Social Interaction Design Ⅱ	(岸本章弘)・(並川鉄也)・(木川田一榮)	2	講義	○			2		集中		
デザインマーケティング	Design Marketing and Strategies	某	2	講義	○			2				※
デザイン学特別演習A	Professional Workshop Series in Design A	専攻関係教員	1	演習	○	2				集中		
デザイン学特別演習B	Professional Workshop Series in Design B	専攻関係教員	1	演習	○			2		集中		
デザイン学特別講義A	Professional Lecture Series in Design A	専攻関係教員	1	講義	○	1				集中		
デザイン学特別講義B	Professional Lecture Series in Design B	専攻関係教員	1	講義	○			1		集中		
デザイン学実務実習	Internship for Design Practice	専攻関係教員	2	実習	○	3		3		集中・学外インターンシップ (専攻長が認めた者のみ履修可)		
デザイン学インターンシップⅠ	Internship for Design Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	-		-		社会人特別入試で合格し 入学した者のみ履修可・1 ～2年次(通年)		
デザイン学インターンシップⅡ	Internship for Design Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	-		-		社会人特別入試で合格し入学 した者で、デザイン学インター ンシップI既習得者のみ履修可・1 ～2年次(通年)		
特別研究（特定課題制作又は論文）	Master's Project	専攻関係教員										※

1. ●は必修科目8単位（特定課題型は「プロジェクトデザインA,B」を履修すること。論文型は「プロジェクトデザインA,B」又は「価値創造学演習Ⅰ、Ⅱ」のいずれかを履修すること。）

2. ☆は選択必修科目（特定課題型は10科目28単位中6単位以上必修。論文型は選択科目とする。）

(15) 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. チェンマイ大学で開設される科目で、週授業時間数を()で囲んであるものは、春学期または秋学期のいずれかに開講されることを示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
チェンマイ大学の第1semester(8月～1月)を秋学期の欄に記載し、第2semester(2月～7月)を春学期の欄に記載している。
5. 教科課程表中の「KIT」は京都工芸繊維大学、「CMU」はチェンマイ大学を示す。
6. 授業科目欄の「京」は京都工芸繊維大学の開設科目、「チ」はチェンマイ大学の開設科目、「京チ」は京都工芸繊維大学・チェンマイ大学の共同開設科目を示す。
7. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。
教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士		週授業時間数				備考	教職		
						インターンシップ	関連科目	1～2年次		①	②			③	④
								春	秋						
KIT+CMU履修推奨科目															
建築設計実習	京 Architecture Design Studio	専攻関係教員・(六鹿正治)・(奥谷繁礼)	6	実習	○	○						24*		集中・1年次 *タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
都市設計実習	京 Urban Design Studio	専攻関係教員・(根本哲夫)・(宮城俊作)	6	実習	●	○						24*		集中・1年次 *タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
Advanced Graduate Design Studio in Architecture	チ Advanced Graduate Design Studio in Architecture	Ekkachai Mahaek	6	実習	●								12*	*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
国際共同設計実習A	京チ International Joint Project of Architectural Design A	(木村博昭)・角田暁治・高木真人・大田省一・Ekkachai Mahaek・Nawit Ongsavangchai・Apichoke Lekagul・Pandin Ounchanum	2	実習	●	○							8*	集中 *タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
国際共同設計実習B	京チ International Joint Project of Architectural Design B	(木村博昭)・角田暁治・高木真人・大田省一・Ekkachai Mahaek・Nawit Ongsavangchai・Apichoke Lekagul・Pandin Ounchanum	2	実習	●	○							8*	集中 *タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
建築デザイン	京 Architectural Design	長坂 大・松隈 洋・米田 明・中村 潔	2	講義	☆K		○						4		
都市デザイン	京 Urban Design	大田省一・赤松加寿江・笠原一人	2	講義	☆K		○						4		
安心安全デザイン技術	京 Design Technology of Safety and Security	阪田弘一・高木真人	2	講義・演習	☆K		○						4		
国際設計プロジェクト I	京 International Project of Architectural Design- I	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○	○						8	集中	
国際設計プロジェクト II	京 International Project of Architectural Design- II	専攻関係教員・(Viray,Erwin)	2	演習	○	○	○						8	集中	
地域設計プロジェクト I	京 Regional Project of Architectural Design- I	専攻関係教員	2	演習	○	○	○						8	集中	
地域設計プロジェクト II	京 Regional Project of Architectural Design- II	専攻関係教員	2	演習	○	○	○						8	集中	
建築設計学特別講義 I	京 Special Lecture- I	専攻関係教員	1	講義	☆K		○						2	集中	
建築設計学特別講義 II	京 Special Lecture- II	専攻関係教員	1	講義	☆K		○						2	集中	
Development and Management of Local Wisdom and Global Technology in Architecture	チ Development and Management of Local Wisdom and Global Technology in Architecture	Ekkachai Mahaek	3	講義	☆C									3	
Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design	チ Application of Theories of Human Behavior in Environmental Studies and Design	Apichoke Lekagul	3	講義	☆C								(3)	(3)	
Urban Architecture	チ Urban Architecture	Nawit Ongsavangchai	3	講義	☆C								(3)	(3)	

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士				週授業時間数				備 考	教職
						インター ンシップ	関連 科目	1～2年次		3～4年次					
								春	秋	①	②	③	④		
修士論文・特定の課題またはそれらの指導に関する科目															
都市・建築再生学演習Ⅰ	Practices of Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	6	演習	●	T				6	6			1年次	
都市・建築再生学演習Ⅱ	Practices of Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	6	演習	●	T				6	6			2年次	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員													
Thesis	Thesis	Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsawangchai・ Tanut Waroonkun・ Apichoke Lekagul・ Pandin Ounchanum・ Rattapong Angkasith・ Burin Tharavichitkun・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent・ Sant Suwatcharapinun・ Karuna Raksawin	12												
都市・建築空間研究A	Architecture and Urban Spatial Research A	専攻関係教員	3	演習	●	K	○			6				集中	
都市・建築空間研究B	Architecture and Urban Spatial Research B	専攻関係教員	3	演習	●	K	○				6			集中	
特別制作	Studio Theses	専攻関係教員・ (Viray,Erwin)													
Independent Study	Independent Study	Ekkachai Mahaek・ Nawit Ongsawangchai・ Pandin Ounchanum・ Rattapong Angkasith・ Burin Tharavichitkun・ Rawiwan Oranratmanee・ Chaowalid Saicharoent・ Sant Suwatcharapinun・ Karuna Raksawin	6												
K I T開設科目															
建築史	Architectural History	西田雅嗣・松隈 洋・ 清水重敦・某	2	講義	○					4					
都市史	Urban History	中川 理・小野芳朗・ 大田省一・岩本 馨・ 赤松加寿江	2	講義	○					4					
建築力学・構造特論	Structural Mechanics and Design, Advanced	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義	○					4					
建築環境・設備論	Building Environment and Equipments	(岡田康郎)	2	講義	○					4					
住環境設計マネジメント	Design Management of Dwelling Environment	阪田弘一・中山利恵・ 木下昌大	2	講義	○		○			4					
都市・地域設計マネジメント	Design Management of Urban and District Environment	角田暁治・岩本 馨・ 三宅拓也	2	講義	○		○			4					
建築構造設計マネジメント	Design Management of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義	○		○			4					
建築保存再生技術	Design Technology of Reinforcement and Renovation	清水重敦・某・ 金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・松田剛佐	2	講義・ 演習	○		○			4					
建築構造設計技術	Design Technology of Building Structures	金尾伊織・満田衛資・ 村本 真・小島紘太郎	2	講義・ 演習	○		○			4					
建築設備設計技術	Design Technology of Building Equipments	(岡田康郎)	2	講義・ 演習	○		○			4					
建築設計学特別講義Ⅲ	Special Lecture-Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○		○					2		集中	
建築設計学特別講義Ⅳ	Special Lecture-Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○		○						2	集中	
建築再生学特別講義Ⅰ	Design for Living Heritage: Special Lecture I	専攻関係教員	1	講義	○		○		2					集中	
建築再生学特別講義Ⅱ	Design for Living Heritage: Special Lecture II	専攻関係教員	1	講義	○		○			2				集中	
建築再生学特別講義Ⅲ	Design for Living Heritage: Special Lecture III	専攻関係教員	1	講義	○		○					2		集中	
建築再生学特別講義Ⅳ	Design for Living Heritage: Special Lecture IV	専攻関係教員	1	講義	○		○						2	集中	

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士		週授業時間数				備 考	教職
						インター シップ	関連 科目	1～2年次					
								春		秋			
①	②	③	④										
国際設計プロジェクトⅢ	International Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中	
国際設計プロジェクトⅣ	International Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中	
地域設計プロジェクトⅢ	Regional Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中	
地域設計プロジェクトⅣ	Regional Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8				集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8				集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	Design for Living Heritage: Project Work Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8			集中	
建築設計実務実習Ⅰ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅰ	専攻関係教員	3	実習	○	○		5	5			集中・学外インターンシップ・1年次	
建築設計実務実習Ⅱ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅱ	専攻関係教員	3	実習	○	○		5	5			集中・学外インターンシップ・2年次	
建築設計実務実習Ⅲ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅲ	専攻関係教員	3	実習	○	○		5	5			集中・学外インターンシップ	
CMU開設科目													
Pre-Graduate Design Studio	Pre-Graduate Design Studio	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun	2	講義	○				2				
Pre-Graduate Architectural Theory	Pre-Graduate Architectural Theory	Sant Suwatharapinun	2	講義	○				2				
Pre-Graduate Building Technology	Pre-Graduate Building Technology	Tanut Waroonkun	2	講義	○				2				
Inquiry for Advanced Architectural Design	Inquiry for Advanced Architectural Design	Apichoke Lekagul	3	講義	○				3				
Advanced Specific Architectural Knowledge	Advanced Specific Architectural Knowledge	Tanut Waroonkun	3	講義	○			(3)	(3)				
Graduate Design Studio in Architecture I	Graduate Design Studio in Architecture I	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun	6	実習	○				12			*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
Graduate Design Studio in Architecture II	Graduate Design Studio in Architecture II	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun・Karuna Raksawin	6	実習	○			12				*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
Research for Architectural Design	Research for Architectural Design	Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun・Karuna Raksawin	3	実習	○			(6)	(6)			*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
Quantitative Research Methods in Architecture	Quantitative Research Methods in Architecture	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)	(3)				
Qualitative Research Methods in Architecture	Qualitative Research Methods in Architecture	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)	(3)				
Architectural Technology and Sustainable Environment	Architectural Technology and Sustainable Environment	Ekkachai Mahaek	3	講義	○			3					
Specific Research in Architecture I	Specific Research in Architecture I	Apichoke Lekagul・Tanut Waroonkun	3	実習	○			(6)	(6)			*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	
Specific Research in Architecture II	Specific Research in Architecture II	Apichoke Lekagul・Tanut Waroonkun	3	実習	○			(6)	(6)			*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。	

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	建築士				備考	教職		
						インターンシップ	関連科目	1～2年次					
								春				秋	
①	②	③	④										
Critical Theories of Architecture	Critical Theories of Architecture	Burin Tharavichitkun・Sant Suwatharapinun	3	講義	○			(3)	(3)				
Critical Practices of Architecture	Critical Practices of Architecture	Burin Tharavichitkun・Sant Suwatharapinun	3	講義	○			(3)	(3)				
Theory of Architecture in Asia	Theory of Architecture in Asia	Nawit Ongsavangchai	3	実習	○			(6)	(6)	*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。			
Selected Topics in Architectural History and Theory	Selected Topics in Architectural History and Theory	Burin Tharavichitkun・Sant Suwatharapinun	3	講義	○			(3)	(3)				
Properties and Behaviors of Architectural Materials	Properties and Behaviors of Architectural Materials	Tanut Waroonkun	3	講義	○			(3)	(3)				
Building Technology	Building Technology	Ekkachai Mahaek	3	講義	○			(3)	(3)				
Architectural Management	Architectural Management	Tanut Waroonkun	3	講義	○			(3)	(3)				
Advanced Professional Practices	Advanced Professional Practices	Ekkachai Mahaek・Apichoke Lekagul・Nawit Ongsavangchai	3	講義	○			(3)	(3)				
Theory and Philosophy in Vernacular Architecture	Theory and Philosophy in Vernacular Architecture	Pandin Ounchanum・Rawiwan Oranratmanee・Chaowalid Saicharoent	3	講義	○			(3)	(3)				
Research Approaches in Vernacular Architecture	Research Approaches in Vernacular Architecture	Pandin Ounchanum・Rawiwan Oranratmanee・Chaowalid Saicharoent	3	講義	○			(3)	(3)				
Dynamics of Vernacular Architecture	Dynamics of Vernacular Architecture	Pandin Ounchanum・Rawiwan Oranratmanee・Chaowalid Saicharoent	3	講義	○			(3)	(3)				
Urban and Community Planning	Urban and Community Planning	Nawit Ongsavangchai	3	講義	○			(3)	(3)				
Principles and Practices in Urban Design	Principles and Practices in Urban Design	Nawit Ongsavangchai・Karuna Raksawin	3	講義	○			(3)	(3)				
Environmental Perception and Assessment	Environmental Perception and Assessment	Apichoke Lekagul・Titaya Sararit	3	講義	○			(3)	(3)				
Selected Topics in Environment and Behavior	Selected Topics in Environment and Behavior	Apichoke Lekagul	3	講義	○			(3)	(3)				
Special Problem	Special Problem	Ekkachai Mahaek・Nawit Ongsavangchai・Tanut Waroonkun・Apichoke Lekagul・Pandin Ounchanum・Rattapong Angkasith・Burin Tharavichitkun・Rawiwan Oranratmanee・Chaowalid Saicharoent・Sant Suwatharapinun・Karuna Raksawin	3	実習	○			(6)	(6)	*タイ・CMUとのJDP(ジョイントディグリープログラム)関連科目のため1単位あたり30時間とする。			
Seminar in Architecture I	Seminar in Architecture I	Pandin Ounchanum	1	講義	○			(1)	(1)				
Seminar in Architecture II	Seminar in Architecture II	Apichoke Lekagul	1	講義	○			(1)	(1)				
Seminar in Architecture III	Seminar in Architecture III	Pandin Ounchanum	1	講義	○			(1)	(1)				

1. 京都工芸繊維大学の開設科目より1.5単位以上、チェンマイ大学の開設科目より1.0単位以上、合計3.6単位以上を修得すること。
2. 修了にはGPAの点数が平均3.00以上の成績が必要である。
3. ●Kは特定課題型の必修科目、●Tは論文型の必修科目を表す。
4. ☆は選択必修科目(☆Kから1単位以上、☆Cから3単位以上)
5. 建築士欄の●は必修科目、○は選択科目を示す。
6. 建築士のインターンシップ科目とインターンシップ関連科目から所定の単位を修得すれば、一級建築士受験資格の実務経験1年または2年と認定される。

(16) 先端ファイブ科学専攻 (論文コース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応
						1～2年次						
						春	秋	①	②			
テキスタイルサイエンスⅠ	Textile Science I (Textile Materials)	鋤柄佐千子	2	講義	●	4				1年次	※	※
テキスタイルサイエンスⅡ	Textile Science II (Textile Processing)	専攻長	2	講義	●	2	2			1年次、集中	※	※
テキスタイルエンジニアリングⅠ	Textile Engineering I (Statistics)	横山敦士	2	講義	☆		4			1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリングⅡ	Textile Engineering II (Evaluation)	佐久間 淳	2	講義	☆			4		1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリングⅢ	Textile Engineering III (Finishing and Dyeing)	奥林里子	2	講義	☆				4	1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリングⅣ	Textile Engineering IV (Kansei)	桑原教彰	2	講義	☆				4	1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリングⅤ	Textile Engineering V (Sustainability)	山田和志・(細田 覚)	2	講義	☆				4	1年次	※	※
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	バイオベースマテリアル専攻関係教員	1	演習	☆	2	2			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
マテリアルサイエンス	Material Science	山田和志	2	講義	○	4				2年次	※	※
コンポジット設計	Composite design	大谷章夫	2	講義	○		4			2年次	※	※
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	(森本一成)	2	講義	○	2				集中		※
サステナビリティ設計	Sustainability Design	(木村照夫)	2	講義	○	2				集中	※	※
先端ファイブ科学シナジーⅠ	Advanced Fibro Synergy I	専攻関係教員	1	演習	○	2				2年次、集中		※
先端ファイブ科学シナジーⅡ	Advanced Fibro Synergy II	専攻関係教員	1	演習	○		2			集中		
先端ファイブ科学セミナーⅠ	Advanced Fibro-Science Seminar I	専攻関係教員	2	講義	●		2			1年次、集中		※
先端ファイブ科学セミナーⅡ	Advanced Fibro-Science Seminar II	専攻関係教員	2	講義	●		2			2年次、集中		※
社会の中の科学技術Ⅰ	Science and Technology Strategy I	木村 肇	2	講義	○	2				集中	※	
社会の中の科学技術Ⅱ	Science and Technology Strategy II	小寺洋一	2	講義	○		2			集中	※	
社会の中の科学技術Ⅲ	Science and Technology Strategy III	(神部匡毅)	2	講義	○	2				集中		
先端ファイブ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	(秋庭英治)・(大越 豊)・(岡本信司)・(篠崎彰大)・(久本誠一)・(堀 照夫)・(上甲恭平)・(具 剛)・(近藤義和)・(大越雅之)	2	講義	○	2				1年次、集中		
国際コミュニケーション演習Ⅰ	Seminar on International Culture Communication I	専攻関係教員	2	演習	○		4			集中		※
国際コミュニケーション演習Ⅱ	Seminar on International Culture Communication II	専攻関係教員	2	演習	○		4			集中		※
先端ファイブ科学インターンシップⅠ	Internship for Advanced Fibro-Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
先端ファイブ科学インターンシップⅡ	Internship for Advanced Fibro-Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブ科学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)		
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅰ	Advanced Fibro Science Seminar and Research I	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅱ	Advanced Fibro Science Seminar and Research II	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅲ	Advanced Fibro Science Seminar and Research III	専攻関係教員	3	実験	●	9	9			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
先端ファイブ科学特別実験及び演習Ⅳ	Advanced Fibro Science Seminar and Research IV	専攻関係教員	3	実験	●	9	9			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
特別研究	Special Research	専攻関係教員・木村 肇・小寺洋一										※

☆は、選択必修科目 (6科目中2単位以上必修)

(17) 先端ファイブ科学専攻 (特定課題型コース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応
						1～2年次						
						春		秋				
①	②	③	④									
テキスタイルサイエンス I	Textile Science I (Textile Materials)	鋤柄佐子子	2	講義	●	4				1年次	※	※
テキスタイルサイエンス II	Textile Science II (Textile Processing)	専攻長	2	講義	●	2		2		1年次、集中	※	※
テキスタイルエンジニアリング I	Textile Engineering I (Statistics)	横山敦士	2	講義	☆		4			1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリング II	Textile Engineering II (Evaluation)	佐久間 淳	2	講義	☆			4		1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリング III	Textile Engineering III (Finishing and Dyeing)	奥林里子	2	講義	☆				4	1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリング IV	Textile Engineering IV (Kansei)	桑原教彰	2	講義	☆				4	1年次	※	※
テキスタイルエンジニアリング V	Textile Engineering V (Sustainability)	山田和志・(細田 覚)	2	講義	☆				4	1年次	※	※
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	バイオベースマテリアル専攻関係教員	1	演習	☆	2		2		1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
マテリアルサイエンス	Material Science	山田和志	2	講義	○	4				2年次	※	※
コンポジット設計	Composite design	大谷章夫	2	講義	○		4			2年次	※	※
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	(森本一成)	2	講義	○	2				集中		※
サステナビリティ設計	Sustainability Design	(木村照夫)	2	講義	○	2				集中	※	※
先端ファイブ科学シナジー I	Advanced Fibro Synergy I	専攻関係教員	1	演習	○	2				2年次、集中		※
先端ファイブ科学シナジー II	Advanced Fibro Synergy II	専攻関係教員	1	演習	○			2		集中		
先端ファイブ科学セミナー I	Advanced Fibro-Science Seminar I	専攻関係教員	2	講義	○			2		1年次、集中		※
先端ファイブ科学セミナー II	Advanced Fibro-Science Seminar II	専攻関係教員	2	講義	○			2		2年次、集中		※
社会の中の科学技術 I	Science and Technology Strategy I	木村 肇	2	講義	○	2				集中	※	
社会の中の科学技術 II	Science and Technology Strategy II	小寺洋一	2	講義	○			2		集中	※	
社会の中の科学技術 III	Science and Technology Strategy III	(神部匡毅)	2	講義	○	2				集中		
先端ファイブ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	(秋庭英治)・(大越 豊)・(岡本信司)・(篠崎彰大)・(久本誠一)・(堀 照夫)・(上甲恭平)・(具 剛)・(近藤義和)・(大越雅之)	2	講義	○	2				1年次、集中		
国際コミュニケーション演習 I	Seminar on International Culture Communication I	専攻関係教員	2	演習	○			4		集中		※
国際コミュニケーション演習 II	Seminar on International Culture Communication II	専攻関係教員	2	演習	○			4		集中		※
先端ファイブ科学インターンシップ I	Internship for Advanced Fibro-Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-		-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
先端ファイブ科学インターンシップ II	Internship for Advanced Fibro-Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-		-		社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブ科学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)		
特別課題実験及び演習 I	Experiments and Seminar in Specified Subjects I	専攻関係教員	3	実験	●	9		9		1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
特別課題実験及び演習 II	Experiments and Seminar in Specified Subjects II	専攻関係教員	3	実験	●	9		9		1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
特別課題実験及び演習 III	Experiments and Seminar in Specified Subjects III	専攻関係教員	3	実験	●	9		9		2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
特別課題実験及び演習 IV	Experiments and Seminar in Specified Subjects IV	専攻関係教員	3	実験	●	9		9		2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※	
特別研究	Special Research	専攻関係教員・木村 肇・小寺洋一										※

☆は、選択必修科目 (6科目中4単位以上必修)

(18) バイオベースマテリアル学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授業科目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考	教職	IGP対応
						1～2年次						
						春	秋	①	②			
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	専攻関係教員	1	演習	●	2	2			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
バイオベースポリマー	Bio-based Polymers	田中知成	2	講義	☆C	4						※ ※
バイオメディカル化学	Biomedical Chemistry	青木隆史	2	講義	☆C		4					※ ※
生体分子立体化学	Stereochemical Aspects of Bio-molecules	安孫子 淳	2	講義	☆C			4				※ ※
バイオカラーサイエンス	Biocolour Science	安永秀計	2	講義	☆C		4					※ ※
バイオ機能材料	Bio-functional Materials	浦川 宏・綿岡 勲	2	講義	☆M		4					※ ※
ナノ材料物性	Properties of Nanomaterials	櫻井伸一	2	講義	☆M			4				※ ※
ナノ材料構造	Structure of Nanomaterials	佐々木 園	2	講義	☆M	4				2019年度開講せず		※ ※
バイオナノファイバー	Bio-Nano Fiber	山根秀樹	2	講義	☆M	4						※ ※
生物資源システム工学	System Engineering for Bio-resources	小原仁実	2	講義	☆B	4						※ ※
環境資源科学	Environmental Resources Science	麻生祐司	2	講義	☆B		4					※ ※
タンパク質機能構造	Functional Structures of Proteins	北所健悟	2	講義	☆B		4					※ ※
植物機能工学	Plant Function and Technology	半場祐子	2	講義	☆B	4						※ ※
テキスタイルサイエンス I	Textile Science I (Textile Materials)	鋤柄佐千子	2	講義	☆共通	4						※ ※
バイオベースマテリアル学セミナー	Seminar on Bio-based Materials Science	(相羽誠一)	1	演習	●			2		集中		
バイオベースマテリアル学国際セミナー	International Seminar on Bio-based Materials Science	専攻関係教員	1	演習	●			2		集中		※
産学連携セミナー	Seminar on Academic-Industrial Cooperation	(北川和男)	1	演習	●	2				集中		
バイオベースマテリアル学インターンシップ I	Internship for Bio-based Materials Science I	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
バイオベースマテリアル学インターンシップ II	Internship for Bio-based Materials Science II	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、バイオベースマテリアル学インターンシップ I 既修得者のみ履修可(通年)		
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 I	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science I	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 II	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science II	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 III	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science III	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 IV	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science IV	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講		※
特別研究	Special Research	専攻関係教員										※

1. 履修区分欄の☆は選択必修科目を示す。C、M、B、共通群の内、自己の登録した群の内から4単位、それ以外の2群からそれぞれ2単位以上を履修すること。
2. その他、専攻共通科目に指定する科目の内から2単位以上を履修すること。

2019年度工芸科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	IGP対応
						1～3年次					
						春		秋			
①	②	③	④								
数理解析学	Studies in Analysis for Mathematical Sciences	矢ヶ崎達彦・朝田 衛・塚本千秋・井川 治・武石拓也	2	講義	○	2					※
応用解析学	Studies in Applied Analysis	峯 拓矢・磯崎泰樹	2	講義	○	2					
応用運動生理学	Applied Exercise Physiology	野村照夫・芳田哲也・来田宣幸・山下直之	2	講義	○		2				※
言語文化情報学	Lectures on Language and Culture	澤田美恵子・南 剛・ジュリーブロック・深田 智・伊藤翼斗・吉川順子・塩屋葉子・山本以和子	2	講義	○	2					
学術英語研究	Academic English	羽藤由美・田中廣明・林千恵子・深田 智・竹井智子・坪田 康・ヒーリ サンドラ・カトウ ダニエラ	2	講義	○		2		西暦奇数年開講		※
現代思想論	Studies on Modern Intellectual Trends	秋富克哉・北村幸也	2	講義	○		2				※
視知覚理論	Theories of Visual Perception	大谷芳夫	2	講義	○	2					
ベンチャーラボ特別演習	Seminar on Venture Business	川北真史	2	講義・演習	○		2				
IGP 知的財産権特論	IGP Intellectual Property, Advanced	国際センター長・(某)	2	講義	○	2			集中 国際科学技術コース科目(HDMIプログラム生推奨科目) 授業は英語で行う(但し、博士前期課程の「IGP 知的財産権論」既修得者は履修不可。		※
産業創出特論	Industry Creation Strategy, Advanced	国際センター長・(染原俊朗)・(田口貢士)・(水越達也)	2	講義	○	2			集中 国際科学技術コース科目(HDMIプログラム生推奨科目) 授業は英語で行う(但し、博士前期課程の「産業創出論」既修得者は履修不可。		※
dCEPセッション(D) I	dCEP session (D) I	dCEP関係教員	2	演習	○	8			集中。履修定員有。 デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可		
dCEPセッション(D) II	dCEP session (D) II	dCEP関係教員	2	演習	○	8			集中。履修定員有。 デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可		
dCEPセッション(D) III	dCEP session (D) III	dCEP関係教員	2	演習	○	8			集中。履修定員有。 デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可		
dCEPセッション(D) IV	dCEP session (D) IV	dCEP関係教員	2	演習	○	8			集中。履修定員有。 デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目 dCEPコース生のみ履修可		
リーガルデザイン論	Regal design	(某)・(大西雅直)	2	講義	○		4		集中。 デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目		
ビジネスデザイン論	Business design	岡田栄造・(某)	2	講義	○		2		集中。 デザインセントリックエンジニアリングプログラム(dCEP)必修科目		

(6) 設計工学専攻 (価値デザインコース)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	IGP対応
						1～3年次					
						春		秋			
①	②	③	④								
機械材料加工論	Manufacturing Processes for Engineering Materials	江頭 快・飯塚高志・中村守正	2	講義	☆			4			※
エネルギーインターネット設計論	Energy Internet Design	門 勇一	1	講義	☆	2					※
通信信号処理	Signal Processing for Communications	大柴小枝子	1	講義	☆		2				※
情報行動論	Human Behaviour in Information Environments	辻野嘉宏・岡 夏樹・澁谷 雄・西崎友規子	2	講義	☆			2			※
情報システム開発方法論	Information System Development Methodology	寶珍輝尚・水野 修・野宮浩揮	2	講義	☆		4				※
Kansei-Human応用設計	Applied Kansei-Human Interface	桑原教彰	2	講義	☆			2			※
振動力学	Vibrational Dynamics	曾根 彰・増田 新・軽野義行	2	講義	☆			4			※
デザインマネジメント論	Design Management	仲 隆介・木谷庸二	2	講義	☆	2					※
デザイン経営学	Management of Technology and Design	川北眞史・勝本雅和	2	講義	☆			2			※
デザイン基礎工学	Basics in Design Engineering	佐藤哲也・小山恵美・北口紗織	2	講義	☆	4					※
価値デザインインターンシップ	Internship for Comprehensive Design	専攻関係教員	2	演習	☆	-		-		社会人コース生のみ履修可(通年)	
ベンチャーラボ特別演習	Seminar on Venture Business	川北眞史	2	講義・演習	●			2		専攻共通科目	
価値デザイン特別演習Ⅰ	Seminar on Comprehensive Design I	専攻関係教員	3	演習	●	6					
価値デザイン特別演習Ⅱ	Seminar on Comprehensive Design II	専攻関係教員	3	演習	●			6		価値デザイン特別演習Ⅰ既修得者のみ履修可	
価値デザイン特別演習Ⅲ	Seminar on Comprehensive Design III	専攻関係教員	3	演習	●	6				価値デザイン特別演習Ⅱ既修得者のみ履修可	
研究指導	Research Guidance										※

☆は、選択必修科目 (5単位以上必修)

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	IGP 対 応
						1～3年次					
						春	秋	①	②		
専門科目群（都市・建築再生学領域）											
地域設計プロジェクト特論Ⅰ	Regional Project of Architectural Design-I,advanced	専攻関係教員	2	演習	○	8				集中	※
地域設計プロジェクト特論Ⅱ	Regional Project of Architectural Design-II,advanced	専攻関係教員	2	演習	○		8			集中	※
地域設計プロジェクト特論Ⅲ	Regional Project of Architectural Design-III,advanced	専攻関係教員	2	演習	○			8		集中	※
地域設計プロジェクト特論Ⅳ	Regional Project of Architectural Design-IV,advanced	専攻関係教員	2	演習	○				8	集中	※
都市・建築再生学インターンシップⅠ	Internship for Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	6	演習	○	6		6		1・2年次	
都市・建築再生学インターンシップⅡ	Internship for Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	6	演習	○	6		6		1・2年次	
都市・建築再生学特別演習Ⅰ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	4	演習	●	4		4		1年次	
都市・建築再生学特別演習Ⅱ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration II	専攻関係教員	4	演習	●	4		4		2年次	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員									※

1. 修了要件として、専攻共通科目群より2単位以上、専門科目群より8単位以上で、自専攻科目より合計16単位以上修得すること。
ただし、必修科目は、「建築設計プロジェクトⅠ・Ⅱ」、「都市・建築再生学特別演習Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを選択すること。

7. 日本語科目

博士前期課程（修士課程）及び博士後期課程に所属する外国人留学生のために、以下の日本語科目を開講しています。

この日本語科目は、外国人留学生のみが履修することができます。

ただし、日本語科目の単位は、修了要件単位に含めることができません。

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	IGP 対 応
						春		秋			
						①	②	③	④		
日本語コミュニケーションⅠ	Japanese Communication Ⅰ	(水野マリ子)	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅡ	Japanese Communication Ⅱ	(水野マリ子)	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅢ	Japanese Communication Ⅲ	(水野マリ子)	1	演習	○	2					※
日本語コミュニケーションⅣ	Japanese Communication Ⅳ	(水野マリ子)	1	演習	○	2					※
日本語コミュニケーションⅤ	Japanese Communication Ⅴ	伊藤翼斗	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅥ	Japanese Communication Ⅵ	伊藤翼斗	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅦ	Japanese Communication Ⅶ	伊藤翼斗	1	演習	○	2					※
日本語コミュニケーションⅧ	Japanese Communication Ⅷ	伊藤翼斗	1	演習	○	2					※
日本語コミュニケーションⅨ	Japanese Communication Ⅸ	澤田美恵子	1	演習	○			2			※
日本語コミュニケーションⅩ	Japanese Communication Ⅹ	澤田美恵子	1	演習	○	2					※
日本語初級Ⅰ	Japanese for Beginners I	(千々岩 宏晃)	1	演習	○	2					※
日本語初級Ⅱ	Japanese for Beginners II	(千々岩 宏晃)	1	演習	○			2			※

(1) 昆虫バイオメディカル教育プログラム

本プログラムは、国公大学が連携することにより、昆虫が有する優れた生物学的機能の解明と、そのヒト疾患研究や再生医療への活用をめざす独創的な医工農連携教育プログラムです。

下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了の認定をすることができます。

昆虫バイオメディカル教育プログラムの履修について

- ①履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を示します。
- ②以下の教科課程表から、**必修9単位、選択必修科目6単位以上の計15単位以上の単位の修得が必要です。**
- ③設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。
- ④受講するに当たり、交通費等について、一部自己負担がある場合があります。
- ⑤備考欄に「応用生物学専攻開講科目」または「機能物質化学専攻開講科目」の記載がある科目については、当該専攻学生に限り、修了要件に含めることができます。ただし、当該専攻以外の専攻の者については、他専攻の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。備考欄に専攻名の記載のない科目については、修了要件に含めることはできません。
- ⑥本学は、京都府立大学と単位互換協定を締結しているため、同大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻の科目を受講し、単位を取得することができます。その取得した単位は、本プログラムの選択必修科目の単位に含めることができます。なお、同大学院で履修した科目は修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目及び学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。

○昆虫バイオメディカル教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
				①	②	③	④	
応用昆虫ウイルス学特論	森 肇	2	☆			2		
疾患モデル昆虫学特論	山口政光	2	☆	2				
染色体工学特論	山口政光・伊藤雅信・吉田英樹	2	☆			2	応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講	
昆虫工学特論	森 肇・小谷英治・高木圭子	2	☆			2	応用生物学専攻開講科目	
バイオメディカル学特論	井上喜博	2	●			2	応用生物学専攻開講科目	
進化ゲノム学特論	高野敏行	2	☆	2			応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講・集中	
生体制御分子設計	小堀哲生	2	☆			4	機能物質化学専攻開講科目	
ヘルスサイエンス学特論 I	プログラム関係教員	2	●	2			応用生物学専攻開講科目 バイオメディカル分野のテクニカル セミナーあるいは京都府立医科大学、 京都府立大学の研究紹介を含む	
ヘルスサイエンス学特論 II	プログラム関係教員	2	●			2	京都府立医科大学、京都府立大学の 研究紹介あるいはバイオメディカル 分野のテクニカルセミナーを含む	
昆虫バイオメディカル特別実験 及び演習	関係教員	3	●			6		

(2) 繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

「繊維・ファイバー工学分野」の産業的な裾野は広がっており、グローバルな視点から見ると繊維産業は成長産業ですが、我が国の教育研究機関における教育者・研究者は激減しており、産業界から教育組織・体系の再構築や強化が強く求められています。

我が国大学院に「繊維・ファイバー工学分野」の専攻を有する高等教育研究機関（信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学）が教育研究資源を連携・融合し、各大学の繊維研究分野における強み、連携における強み等を活かし、弱い機能を補完する形で我が国における繊維系大学院連合の構築を目指しています。

この繊維系大学院連合と関係学会、産業関連団体（産業界）とが連携して、同分野の基礎から応用、製品開発までの一貫した知識・技術を修得させ、グローバルな視野を持ち、課題設定力・課題解決力、リーダーシップを兼ね備えた技術者、研究者を育成することを目的として、繊維・ファイバー工学コース教育プログラムを実施します。

下記に掲げる本プログラムに関する科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、繊維・ファイバー工学コース修了者として認定証を交付します。（国家資格ではありません。）

なお、以下本プログラムの履修は、2019年度大学院工芸科学研究科博士前期課程入学者から対象とします。

繊維・ファイバー工学コース 教育プログラムの履修について

- ①本教育プログラムは、別に定める「履修生募集要項」に基づき出願し、選抜試験に合格した者を対象としています。
- ②本教育プログラムは、コース基幹科目及びコース連携科目からなります。
- ③履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
- ④本教育プログラムの認定には、大学院の科目（表1）のうちから、コース基幹科目の必修2単位及び選択必修4単位以上の計6単位、コース連携科目の選択科目を6単位以上の計16単位以上の単位を修得し、かつ、博士前期課程を修了することが必要です。
- ⑤大学院の科目（表1）のうち、備考欄に「専攻共通開講科目」の記載がある科目については、10単位まで修了要件に含めることができます。また、備考欄に「先端ファイブ科学専攻開講科目」、「バイオベースマテリアル学専攻開講科目」、「デザイン学専攻開講科目」の記載がある科目についても、先端ファイブ科学専攻、バイオベースマテリアル学専攻、デザイン学専攻の者については、それぞれ所属する専攻の授業科目の修了要件単位に、その他専攻の者については、他専攻の開講の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。
ただし、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目、単位互換制度等による他大学院科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑥信州大学、福井大学との単位互換協定により表2・3に示す各大学大学院の科目を受講し、単位を修得した場合は、本教育プログラムの選択科目の単位に含めることができます。
なお、別途、特別聴講学生として履修登録申請手続きを行う必要があります。
また、修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑦受講するに当たり、交通費等については、原則自己負担となります。なお、コース基幹科目実施のため、バス・宿泊先を準備することがあります。

○繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

表1 (本学大学院博士前期課程科目)

授業科目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備考
					1~2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
コース基幹科目	繊維系合同研修	青木隆史	2	演習	●	4			集中、専攻共通開講科目 1年次
	繊維系資格概論	浦川 宏	2	講義	☆		2		集中、専攻共通開講科目
	アカデミックインターンシップ (国内) I	浦川 宏・先端ファイブ ロ科学専攻関係教員・ バイオベースマテリアル 学専攻関係教員	1	実習	☆	2	2		集中、専攻共通開講科目、 1年次、春又は秋学期開講 自己負担がある可能性有り
	アカデミックインターンシップ (国内) II	浦川 宏・先端ファイブ ロ科学専攻関係教員・ バイオベースマテリアル 学専攻関係教員	1	実習	☆	2	2		集中、専攻共通開講科目、 1年次、春又は秋学期開講 自己負担がある可能性有り
	アカデミックインターンシップ (海外)	綿岡 勲・佐藤哲也	2	実習	☆	3	3		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講 自己負担がある可能性有り
	繊維・ファイバー工学特論 I	佐々木園・鋤柄佐千子・ 奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講
	繊維・ファイバー工学特論 II	佐々木園・鋤柄佐千子・ 奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講
	繊維・ファイバー工学特論 III	佐々木園・鋤柄佐千子・ 奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講
	繊維・ファイバー工学特論 IV	佐々木園・鋤柄佐千子・ 奥林里子・安永秀計	1	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講
	繊維基礎科学 (英語版e-Learning科目)	奥林里子	2	講義	☆		2		専攻共通開講科目
コース連携科目	テキスタイルサイエンス I	鋤柄佐千子	2	講義	○	4			先端ファイブプロ科学専攻開講科目
	テキスタイルエンジニアリング III	奥林里子	2	講義	○			4	先端ファイブプロ科学専攻開講科目
	テキスタイルエンジニアリング IV	桑原教彰	2	講義	○		4		先端ファイブプロ科学専攻開講科目
	Kansei-Human設計	(森本一成)	2	講義	○	2			先端ファイブプロ科学専攻開講科目・集中
	サステナビリティ設計	(木村照夫)	2	講義	○	2			先端ファイブプロ科学専攻開講科目・集中
	バイオベースポリマー	田中知成	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオ機能材料	浦川 宏・綿岡 勲	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオカラーサイエンス	安永秀計	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	生物資源システム工学	小原仁実	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
	バイオナノファイバー	山根秀樹	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目
色彩工学	佐藤哲也・北口紗織	2	講義	○	4			デザイン学専攻開講科目	

表2 (信州大学大学院理工学研究科 (修士課程) 繊維・ファイバー工学コース教育プログラム科目コース連携科目)

授業科目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数		備考	
					1~2年次			
					春	秋		
コース連携科目	繊維技術士特論	(斉藤磯雄) 他	2	講義	○	1	1	集中、春又は秋学期開講
	繊維材料学特論	大越 豊	2	講義	○	2		
	ヤーンテクノロジー特論	(松本陽一)	2	講義	○	2		
	繊維製品快適性評価特論	(西松豊典)	2	講義	○	2		
	衣服工学特論	高寺政行・金 晃屋	2	講義	○		2	
	感性計測特論	上條正義・佐古井智紀	2	講義	○		2	
	感性繊維化学特論	田中稔久	2	講義	○		2	
	複合材料力学特論	鮑 力民	2	講義	○		2	
	機能化学特論 I	浅尾直樹	2	講義	○		2	
	蚕利用学特論 I・II	梶浦善太	2	講義	○	2		(Iで1単位、IIで1単位)

表3 (福井大学大学院工学研究科 (博士前期課程) 繊維・ファイバー工学コース教育プログラム科目コース連携科目)

授業科目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数		備考	
					1~2年次			
					春	秋		
コース連携科目	繊維科学概論	(宮崎孝司)	2	講義	○	2		
	繊維・高分子材料工学	中根幸治	2	講義	○		2	
	繊維・高分子材料レオロジー特論	植松英之	2	講義	○		2	
	繊維・高分子加工工学	田上秀一	2	講義	○	2		
	分子相互作用特論	入江 聡	2	講義	○		2	
	界面コロイド化学	久田研次	2	講義	○		2	
	カラーレーション工学	廣垣和正	2	講義	○	2		
	生命機能科学概論	里村武範・坂元博昭	2	講義	○	2		
	生体材料化学	藤田 聡	2	講義	○		2	

(3) 計数理学コース 教育プログラム

本プログラムは、工学における専攻分野を生かしつつ数理学の幅広い素養を身につけた学生を育成することを目指しています。下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了が認定されます。

計数理学コース教育プログラムの履修について

- ① 履修区分欄に☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
(専攻専門科目については、次年度以降変更されることがあります。)
- ② 本教育プログラムの修了認定には、次の条件をすべて満たすことが必要です。
 - (A) 以下の教科課程表から、合計 12 単位以上の単位を修得すること。
 - (B) 数理学特論 I・II・III より 4 単位以上の単位を修得すること。
 - (C) 数理応用代数・数理応用幾何・数理応用解析・数理応用統計より 2 単位以上の単位を修得すること。
 - (D) 代数学セミナー・幾何学セミナー・解析学セミナー・確率論セミナーより 2 単位以上の単位を修得すること。

ただし、京都工芸繊維大学工芸科学部の対応する学部科目の修得単位をプログラム修了認定要件に含めることが出来ます。(学部在籍時に学部科目として取得した数学科目の単位を、博士前期課程の修了認定要件に含めることは出来ません)

- ③ このコースの教育プログラム教科課程表の備考欄には、各科目の属性等を示していますが、博士前期課程の修了要件に含めることができる単位については、大学院工芸科学研究科履修規則 別表 4 (第 5 条第 1 項関係) の (1) 修了に必要な単位数で確認してください。

○計数理学コース 教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
					1~2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
数理学特論 I	朝田 衛・武石拓也	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理学特論 II	磯崎泰樹・峯 拓矢・塚本千秋	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理学特論 III	井川 治・矢ヶ崎達彦	2	講義	☆	2				専攻共通科目
統計物理学	某	2	講義	○	4				電子システム工学専攻専門科目 2019年度開講せず
電子系・電子凝縮系の物理	萩原 亮	2	講義	○				2	電子システム工学専攻専門科目
情報伝送システム論	稲葉宏幸・梅原大祐	2	講義	○	4				情報工学専攻専門科目
形式的意味論	辻野嘉宏	1	講義	○	2				情報工学専攻専門科目
形式言語理論	辻野嘉宏	2	講義	○	4				情報工学専攻専門科目
計算流体力学	山川勝史	2	講義	○	4				機械物理学専攻専門科目
数値固体力学	高木知弘	2	講義	○	4				機械物理学専攻専門科目
確率応用システム論	澤田祐一	2	講義	○				4	機械設計学専攻専門科目
最適化理論	軽野義行	2	講義	○				4	機械設計学専攻専門科目
熱・統計物理学	八尾晴彦	2	講義	○				2	材料制御化学専攻専門科目
階層構造形成論	藤原 進・橋本雅人	2	講義	○	2				材料制御化学専攻専門科目
数理応用代数	朝田 衛	2	講義	☆				2	専攻共通科目
数理応用幾何	井川 治	2	講義	☆				2	専攻共通科目
数理応用解析	峯 拓矢	2	講義	☆				2	専攻共通科目
数理応用統計	磯崎泰樹	2	講義	☆				2	専攻共通科目
代数学セミナー	朝田 衛	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
幾何学セミナー	井川 治・塚本千秋・矢ヶ崎達彦	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
解析学セミナー	峯 拓矢・武石拓也	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
確率論セミナー	磯崎泰樹	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目

(4) デザインセントリックエンジニアリングプログラム

デザインセントリックエンジニアリングプログラム (dCEP) は、社会の変化を俯瞰的に理解し、社会ニーズを利用者視点で見極め、革新的技術を新しい価値に結び付けてイノベーションを実現することのできる高度な工学系人材を育成するための、博士前期課程・後期課程一貫の教育プログラムです。

本プログラムはデザインシンキングを学ぶために提供されるdCEP 科目群と、デザインシンキング による社会実装を目指す実習の場でありコースの中核となるセッションで構成されます。博士前期課程においてはデザインリサーチ論とプロトタイピング論が、博士後期課程ではリーガルデザイン論とビジネスデザイン論が、dCEP科目群として提供されます。

プログラムの中核となるセッションは、学生が研究対象とする革新的要素技術を社会実装に導く方法と課題抽出を学ぶ実習の場です。セッションには、社会的課題や真のニーズを提示するクライアントとしての企業・行政、課題解決に関連する異分野の専門家が参加し、実践的な発想力・俯瞰力をもつデザイナーやデザイン研究者がファシリテーターとなりセッションをリードします。セッションは学生が研究対象とする革新的要素技術 (新材料、新機能素子、新システム、等)の社会的価値や経済的価値を見極めるために社会ニーズのリサーチから始まり、クォーターを一つのタームとして複数のセッションが実施されます。

デザインセントリックエンジニアリングプログラム 教育プログラムの履修について

- 1) 本教育プログラムは、別に定める「履修生募集要項」に基づき出願し、選抜試験に合格したものを対象としています。
- 2) 各所属専攻で大学院博士前期課程および大学院博士後期課程の修了要件を満たし、その上で、以下に示す24単位全てを修得すれば、博士後期課程の修了と同時に本プログラムの修了が認定されます。

なお、博士前期課程におけるプログラム履修の実績が無い場合においても、審査により博士前期課程の業績が認められれば博士後期課程からのプログラムの履修が可能となり、博士後期課程において12単位を修得すれば、プログラムの修了認定を受けることが可能です。

※ このコースの教育プログラム教科課程表の備考欄に、各科目の属性等を示していますが、修了要件に含めることができる単位については、大学院工学科学研究科履修規則 別表4 (第5条第1項関係) 及び別表5 (第6条第1項関係) の(1) 修了に必要な単位数で確認してください。

○デザインセントリックエンジニアリングプログラム 教育プログラム

大学院博士前期課程

授 業 科 目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考
					1~2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
dCEPセッション(M) I	dCEP関係教員	2	演習	●	8				専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(M) II	dCEP関係教員	2	演習	●		8			専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(M) III	dCEP関係教員	2	演習	●			8		専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(M) IV	dCEP関係教員	2	演習	●				8	専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
デザインリサーチ論	門 勇一・岡田栄造・dCEP関係教員	2	講義・演習	●		4			専攻共通科目開講科目
プロトタイピング論	鈴木篤史	2	講義	●				2	専攻共通科目開講科目

大学院博士後期課程

授 業 科 目	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考
					1~2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
dCEPセッション(D) I	dCEP関係教員	2	演習	●	8				専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(D) II	dCEP関係教員	2	演習	●		8			専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(D) III	dCEP関係教員	2	演習	●			8		専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
dCEPセッション(D) IV	dCEP関係教員	2	演習	●				8	専攻共通、デザイン学専攻及び建築学専攻開講科目
リーガルデザイン論	(某)・(大西雅直)	2	講義	●			4		専攻共通科目開講科目
ビジネスデザイン論	岡田栄造・(某)	2	講義	●				2	専攻共通科目開講科目

(5) 建築都市保存再生学コース 教育プログラム

現在進みつつあるストック型社会の実現に向けて必要となる、建築や都市の保存・再生の事業をリードできる人材を育成する大学院教育プログラムを、大学院博士前期課程建築学専攻において実施します。ここでは、従来の建築や都市の歴史学、文化財の制度やその保存技術、伝統的建築の構造解析や耐震補強、保存・再生のマネジメント、保存・再生のために求められる設計デザインなど、既存の建築学の分野を広く横断する知識と技能を集結し、それらを駆使しながら実際の事業を担えることができる高度な知識・技能を修得することを目的とします。実習や特別講義の多くは、KYOTO Design Lab. との連携により実施されるものです。

建築都市保存再生学コースの履修について

- ①このコースは大学院博士前期課程建築学専攻に設置されるもので、この専攻に所属する学生のみが履修することができます。
- ②大学院博士前期課程建築学専攻の2年次以降からこのコースを履修することもできます。
- ③大学院博士前期課程建築学専攻の修了要件を満たし、その上で、以下に示す16単位全てを修得し、かつ、コース修了試験に合格すれば、専攻の修了と同時に建築都市保存再生学コースの修了が認定されます。

○建築都市保存再生学コース 大学院博士前期課程

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	専 攻 履 修 区 分	週授業時間数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
①	②	③	④						
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	専攻関係教員	2	演習	○	8				集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	専攻関係教員	2	演習	○		8			集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	専攻関係教員	2	演習	○			8		集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	専攻関係教員	2	演習	○				8	集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	○	2				集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	○		2			集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○			2		集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○				2	集中・建築学専攻科目
都市史	中川 理・小野芳朗・大田省一・岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○	4				建築学専攻科目
建築史	西田雅嗣・松隈 洋・清水重敦・某	2	講義	○	4				建築学専攻科目

(6) グローバル教養プログラム

近年、グローバル化や少子高齢化など社会状況は急激に変化しています。これらの急激な変化に的確に対応でき、次代の社会を担うことのできる人材の育成が我が国の高等教育の急務となっています。このような状況の下、本学では、学部と大学院の一貫教育の実施、およびグローバル人材の育成強化等を目指して、教育制度の改革を精力的に実行しています。

この取り組みの一環として、平成27年度より大学院博士前期課程における教養教育科目（専攻共通科目）を大幅に拡充し、高い基礎学力に立脚した専門知識・技能の習得に加えて、外国語運用能力の習得やコミュニケーション力の強化を通じたリーダーシップの醸成、国際レベルの教養修得などを通して、グローバルな現場でリーダーシップを発揮し組織やプロジェクトを成功に導く高付加価値型人材の育成を目指したプログラムを実施します。

- ① 大学院博士前期課程の全学生を対象とします。
- ② 履修生が所属する各専攻の修了要件に加え、専攻共通科目から4単位（うち2単位は英語系科目）を修得し、総計34単位以上修得した者に対して、専攻の修了と同時にプログラム修了者として認定証を交付します。
- ③ 各科目群の特徴は次のとおりです。
 - ・ 市民的教養とリーダーシップを育てる科目群・・・高等教養セミナー系、人文系、KIT大学院科目
 - ・ 国際共通語としての英語鍛え直し科目群・・・英語系
 - ・ 更なる高度な学習・研究段階へ進むための基礎となる専門科目群・・・数学系、高等教養セミナー系、人文系、自然科学系、KIT大学院科目
 - ・ 個々の学生のキャリア展望に応じたキャリアサポート科目群・・・インターンシップ系、KIT大学院科目

○グローバル教養プログラム

修了に必要な単位数（博士前期課程（修士課程） 国際科学技術コースを除く。）

専攻共通科目								総合計
数学系科目	英語系科目	高等教養セミナー系科目	人文系科目	自然科学系科目	インターンシップ系科目	KIT大学院科目	専攻共通科目合計	
	2						4	34